

東ト協 児童絵画作品コンテスト表彰式 6年度

トラック、だいすき



思いよ届け 作品とともに

東京都トラック協会(水野功会長)は12月22日、東ト総合会館7階大会議室で、令和6年度「トラックの日」児童絵画作品コンテスト表彰式を開催した。

表彰式では、「トラック、だいすき」のかけ声での記念撮影に参加者一同多めに盛り上がり、素敵な作品とともに、子どもたちの思いが届けられた。表彰式には、入賞児童とその保護者などが出席し、最優秀賞(東京運輸支局長賞)の箱崎莉咲さん(荒川区立汐入小学校)をはじめ、優秀賞・佳作入賞の児童21人(都合により4人欠席)に表彰状と副賞(図書カード)を贈り、表彰した。



最優秀賞は箱崎莉咲さん 入賞21人の児童を表彰

今年度コンテストには、都内の小学校などから、714名の応募があり、児童絵画作品コンテスト選考小委員会で審査・選考の上、最優秀賞の東京運輸支局長賞(1点)をはじめ、優秀賞(低・中・高学年の部各3点の計9点)、佳作(11点)を決定した(入賞者名・入賞作品は1月10日号に掲載)。

開催に当たり、水野会長が、緑ナンバートラックの役割を説明し、「皆さんも交通ルールを守り、交通事故に遭わないように注意してほしい。大人になっても、変わらずに緑ナンバートラックのことを応援してくれるとうれしい」と呼びかけた。

続いて、東運支局の織田陽一支局長が、「皆さんの描いた絵を見て、色々なことを考えてくれたことがとても楽しかった。このコンテストがトラックのことを考えるきっかけになってくれれば良い」と祝辞を述べた。

最優秀賞を受賞した箱崎さんは、司会者の質問に「心がドクドクして、めっちゃうれしい」と喜びの声を伝え、動物がたたく声に乗っているトラックの絵について、「楽しいトラックになるように」との思いを込めて描いたと答えてくれた。

表彰後、入賞した児童たちは記念撮影に臨み、「トラック、だいすき」の言葉で最高の笑顔を披露し、子どもたちの一言はmの協力により開催。

また、東ト協が昨年度実施した定期健康診断の助成金の申請者数が、全事業者数の60%に満たない割合となっていることから、4月1日付で「定期健康診断の確実な実施について」の文書を発出し、受診率の向上を求めるとともに、健診費用の一部助成を2000円に増額している。

さらに、「脳MRI健診の実施について」を發出し、ドライバーが重大事故を起こす前に検査を検討するよう求めた。現時点

また、東ト協が昨年度実施した定期健康診断の助成金の申請者数が、全事業者数の60%に満たない割合となっていることから、4月1日付で「定期健康診断の確実な実施について」の文書を発出し、受診率の向上を求めるとともに、健診費用の一部助成を2000円に増額している。

さらに、「脳MRI健診の実施について」を發出し、ドライバーが重大事故を起こす前に検査を検討するよう求めた。現時点

また、東ト協が昨年度実施した定期健康診断の助成金の申請者数が、全事業者数の60%に満たない割合となっていることから、4月1日付で「定期健康診断の確実な実施について」の文書を発出し、受診率の向上を求めるとともに、健診費用の一部助成を2000円に増額している。

さらに、「脳MRI健診の実施について」を發出し、ドライバーが重大事故を起こす前に検査を検討するよう求めた。現時点

また、東ト協が昨年度実施した定期健康診断の助成金の申請者数が、全事業者数の60%に満たない割合となっていることから、4月1日付で「定期健康診断の確実な実施について」の文書を発出し、受診率の向上を求めるとともに、健診費用の一部助成を2000円に増額している。

さらに、「脳MRI健診の実施について」を發出し、ドライバーが重大事故を起こす前に検査を検討するよう求めた。現時点

また、東ト協が昨年度実施した定期健康診断の助成金の申請者数が、全事業者数の60%に満たない割合となっていることから、4月1日付で「定期健康診断の確実な実施について」の文書を発出し、受診率の向上を求めるとともに、健診費用の一部助成を2000円に増額している。

さらに、「脳MRI健診の実施について」を發出し、ドライバーが重大事故を起こす前に検査を検討するよう求めた。現時点

また、東ト協が昨年度実施した定期健康診断の助成金の申請者数が、全事業者数の60%に満たない割合となっていることから、4月1日付で「定期健康診断の確実な実施について」の文書を発出し、受診率の向上を求めるとともに、健診費用の一部助成を2000円に増額している。

さらに、「脳MRI健診の実施について」を發出し、ドライバーが重大事故を起こす前に検査を検討するよう求めた。現時点

また、東ト協が昨年度実施した定期健康診断の助成金の申請者数が、全事業者数の60%に満たない割合となっていることから、4月1日付で「定期健康診断の確実な実施について」の文書を発出し、受診率の向上を求めるとともに、健診費用の一部助成を2000円に増額している。

7年度事業の基本的考え方を承認

事業の更なる効率性を求め 「選択と集中」予算へ

東ト協は12月19日、東ト総合会館で、第112回(令和6年度第1回)東京都交付金事業審議委員会を開催し、委員長に只腰憲久氏(元東京都都市整備局長)を選任し、委員長職務代理に安原敬裕氏(元関東運輸局長)を指名。交付金事業予算について審議し、7年度事業実施計画策定に当たっての基本的考え方を承認した。

東ト協 第112回 交付金事業審議委員会



冒頭、水野功会長がいさつし、「協会の事業に引き続き、7年度の交付金事業の執行状況を報告した上で、同予算に係る新規・拡充事業の今後の執行予定について説明し、審議・承認。さらに、7年度交付金事業予算について、事業計画策定に当たっての基本的考え方を承認した。

「TOKYO交通安全キャンペーン」東京都



東京都は12月1日から7日まで、年末に増加する交通事故の抑止を図るため、警視庁、各市区町村、関係機関・団体と連携して、TOKYO交通安全キャンペーンの職員が参加し、緑ナンバートラックのドライバーに対して、啓発チラシを手渡し、追突などの事故防止に努めるよう求めた。

キャンペーン期間中の5日には、東京高速道路交通安全協議会が警視庁高速道路交通安全隊と協力し、首都高速1号羽田線上り平和島PAで、「重大交通事故防止キャンペーン」として、PAを利用するドライバーに事故防止を呼びかける合同街頭活動を実施した。

東ト協 重大事故防止を呼びかけ

また、東ト協が昨年度実施した定期健康診断の助成金の申請者数が、全事業者数の60%に満たない割合となっていることから、4月1日付で「定期健康診断の確実な実施について」の文書を発出し、受診率の向上を求めるとともに、健診費用の一部助成を2000円に増額している。

年末年始の業務

東ト協本部事務局 年末12月27日(金)まで通常業務 年始1月6日(月) 東ト協力ドロッカー 年末12月30日(火)午後3時まで、同31日(水)は正午まで営業 年始1月4日(土)から通常営業

紙面あんない 東ト協・今年の重大ニュース 東ト協が労務厚生委員会を開催 東ト協支部長会で意見交換 生命のメッセージ展を開催 全ト協、6年度Gマーク事業所を認定 7 6 5 4 2 古紙・パルプ含有率80%再生紙を使用



東京都 運輸・物流の脱炭素化支援

申請受付期間を延長へ

東京都は申請受付を行っている「運輸・物流分野における脱炭素化支援事業」について、東京都環境公社・東京都地球温暖化防止活動推進センター(クール・ネット東京)で、これにより、環境への対応が優良な運送事業者の利用促進を図るもの。

あわせて、運輸事業者に対する支援として、環境関係の認証取得

申請受付を行っており、申請受付期間は来年2月27日午後5時必着(郵送)28日午後5時必着(オンライン)までとなっている。

具体的な支援内容は、次の通り。

- ▽申請期間(オンライン申請/来年1月24日午後5時必着、郵送申請/1月23日午後5時必着)
- ▽補助対象(新たなグリーン経営認証制度およびISO14001の認証のいずれか取得する運輸事業者(トラック・バスなど))
- ▽補助率(認定審査・登録経費の2分の1(補助上限額50万円))
- ▽申請期間(オンライン申請/来年2月28日午後5時必着、郵送申請/2月27日午後5時必着)
- ※いずれの支援も予算額に達し次第、受付を終了する可能性がある。

9月「価格交渉促進月間」フォローアップ調査結果

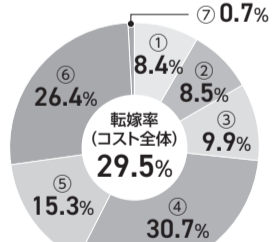
中小企業庁「価格交渉促進月間(2024年9月)フォローアップ調査」の結果を公表した。それによると、コスト増減が顕著な企業は延べ5万社(回答から抽出の全体の価格転嫁側企業数は延べ5万社)と推定される。

価格交渉促進月間(2024年9月)フォローアップ調査の結果を公表した。それによると、コスト増減が顕著な企業は延べ5万社(回答から抽出の全体の価格転嫁側企業数は延べ5万社)と推定される。

転嫁率49・7%に上昇 トラック運送低い状況

前回は、3月の調査より、転嫁率(コスト増減)が49・7%に上昇した。トラック運送の転嫁率は25・5%で、前回は22・9%と、1・6%ポイント上昇した。

価格転嫁状況(トラック運送業)



材料費が51・4%で、労務費は44・7%で、エネルギー費は44・4%で、4・0%ポイント上昇した。交渉が行われなかった「交渉が行われなかった」割合は86・4%と1・2%ポイント上昇した。

「交渉が行われなかった」割合は86・4%と1・2%ポイント上昇した。

他人事と捉える中小荷主も トラック事業者の役割は重要

改正法は、「物流事業者から定期的なアンケート調査し、回答に基づいて主要な荷主等(元請けを含む)を抽出し、荷待ち・荷役時間の短縮、積載率の向上に関して項目別に把握し、これらを点数化して点数の高い者・低い者も含め公表する」と明記している。

しかし3省は、「荷主が実際に持っている取り組み状況をヒアリングする」として、「点数化された結果を公表することによって、2024年問題が乗り切れないとの危惧の表れと見て取れる。」と、断固とした姿勢を示した。

改正物流効率化法の施行に向けて、国土交通・経済産業・農林水産の3省は基本方針や判断基準案を示し意見募集を行ったが、荷主の取り組みを点数化し公表することについて、「低い点数を公表するのは見直すべき」など反対する意見が複数見られた。しかし3省は、「すべての事業者の物流効率化の取り組みを促すものであり、低い点数を公表から除外するのは適切でない」と突っぱねる姿勢を示している。

点描 運輸

改正法の点数制に反対意見

改正法は、「物流事業者から定期的なアンケート調査し、回答に基づいて主要な荷主等(元請けを含む)を抽出し、荷待ち・荷役時間の短縮、積載率の向上に関して項目別に把握し、これらを点数化して点数の高い者・低い者も含め公表する」と明記している。

しかし3省は、「荷主が実際に持っている取り組み状況をヒアリングする」として、「点数化された結果を公表することによって、2024年問題が乗り切れないとの危惧の表れと見て取れる。」と、断固とした姿勢を示した。

他人事と捉える中小荷主も トラック事業者の役割は重要

「1回の受け渡しは1時間以内」と規定した点(特定事業者)に対する物流改善実施状況のランク評価を、2026年4月から実施する。予期ある場合は、事業所全体

「1回の受け渡しは1時間以内」と規定した点(特定事業者)に対する物流改善実施状況のランク評価を、2026年4月から実施する。予期ある場合は、事業所全体

で1回とするのか」の質問に対し、受け渡しごとに原則1時間以内とすることを目標として取り組んでいただく」と回答している。

リードタイムの緩和についても、「小売りがメーカーや卸売業者に欠品時の罰則を設けている」と、評価の断行する姿勢を示した。

トラック予約受付システムについても、「単に導入するだけでなく、現場の実態を踏まえた効果的な活用を行うこと」と注目を付けた。機器メーカーによって仕様が異なる汎用性がないことや、一部利用者が予約枠を先取りし、直前でキャンセルするため予約が取れない実態を踏まえたものと、こうした行政側の強気な姿勢に対し、特に中小

「2024年問題に取り組み」と回答した割合がわずかに26・1%にとどまっている。物流にもっと目を向け、重要性を認識してもらうためにも、トラック事業者が果たすべき役割は今後ますます重要性を増していくとみられる。

(ライター 澤田誠)

東ト協受付

東京都トラック協会は全日本トラック協会の取次事業として、令和6年度「若年ドライバー確保のための運転免許取得支援助成事業」の申請を受け付けている。6年12月の保険証の新規発行終了に伴い、提出書類の健康保険証を雇用保険被保険者通知書に変更した。

若年労働者を確保するため、運転者として採用した若年ドライバーの協業部交通・環境G(03・3359・6257)

提出書類を一部変更

特例教習(資格条件の年齢19歳以上、普通または準中型免許運転経歴1年以上への引き下げに伴う講習)受講や、準中型免許の取得に係る費用の一部を助成するもの。

申請受付期間は、7年2月28日(予算額に達し次第、受付終了)。同期間に助成申請書を提出したものが対象。

詳細は、東ト協ホームページを参照。

矢崎の デジタコ・ドラレコ

今お使いのバックアイカメラの映像を録画できます!

詳しくは、今すぐお電話を!

矢崎エナジーシステム 特約販売店

世田谷サービス株式会社

本社 03-5727-1600 (担当・青木)

高島平 03-6906-5960 (担当・磯田)

ホームページ http://www.setagaya-yss.co.jp

E-mail: postmaster@setagaya-yss.co.jp

標準的運賃届出率75・4% 意見交換協会運営に活かす

東京都トラック協会は、12月19日、港区の第一ホテル東京で、令和6年度第1回支部長会を開催した。

水野功会長をはじめ、各支部長と25支部の支部長が出席した。

開催に当たり、水野会長があいさつし、「支部長の皆様にご協力をいただいた標準的運賃の届出促進活動の中間報告を行うとともに、今年1年間の締めくくりとして、各支部における現状と課題を直接聞かせていただき、今後の協会運営に活かす」と述べた。

議事ではまず、標準的運賃の届出状況について、三村偉一郎副会長、水野功会長が説明し、届出促進に向けた各支部の協力を感謝の言葉を述べた。

11月末現在の東ト協会員の届出率は、75・4%で、着実に成果を挙げていると報告された。

15支部で80%を上回る状況。今後は未達成の支部を中心に目標とする95%を目指し、さらなる届出促進の展開を図る。

続いて、支部の現状と向上に繋げていきたと述べている。



6年度 支部長会 第1回

課題について各支部長が報告。多くの支部で会員数が減少している状況の進捗状況を報告し、支部プロック化に向けた取り組みの課題や要望が挙げられた。

また、第一期プロックの第2期パイロットプロックの進捗状況を報告し、支部プロック化に向けた取り組みの課題や要望が挙げられた。

また、自治体との災害協定、標準的運賃、燃料高騰対策、DXの推進なども取り上げた。

各支部長からの意見発表後、水野会長が総括を行い、協会としての取り組みの方向性やオンライン・シミュレーターの実業化を検討していると説明した。



小学校で交通安全教室

東ト協港支部(坂田生子支部長)青年部(山本哲也部長)は12月18日、港区立芝浜小学校で、三田警察署と協力して、交通安全教室を開催した。

同日は1年生約150名が参加した。

交通安全教室を開催した。乗車体験は、敷地内のみならず、芝浦消防団ポンプ操縦訓練スペースで港支部青年部メンバーが中心に指導役となり行われた。

開催に当たり、坂田支部長が「トラックでの乗車体験を通じて、交通安全について正しく理解し、気をつけましょう」と呼びかけた。

乗車体験は、会員事業者の2トトラック3台を使って、児童が実際に運転席に座り、トラックには前方下部や左側斜め後方部分に、死角があることを体験してもらった。

その後、児童にはトラック前方下部や左側斜め部に移動してもらい、運転席の友達に気付いてもらうため、手を上げることの必要性と、死角部分に入る危険性を学んだ。

この後、山本部長が交通安全を呼びかけるとともに、緑ナンバートラックを説明。参加した児童に、反射素材のタックルバンドをプレゼントした。

東ト協 港支部

東ト協港支部(坂田生子支部長)青年部(山本哲也部長)は12月18日、港区立芝浜小学校で、三田警察署と協力して、交通安全教室を開催した。

同日は1年生約150名が参加した。

交通安全教室を開催した。乗車体験は、敷地内のみならず、芝浦消防団ポンプ操縦訓練スペースで港支部青年部メンバーが中心に指導役となり行われた。

開催に当たり、坂田支部長が「トラックでの乗車体験を通じて、交通安全について正しく理解し、気をつけましょう」と呼びかけた。

乗車体験は、会員事業者の2トトラック3台を使って、児童が実際に運転席に座り、トラックには前方下部や左側斜め後方部分に、死角があることを体験してもらった。

その後、児童にはトラック前方下部や左側斜め部に移動してもらい、運転席の友達に気付いてもらうため、手を上げることの必要性と、死角部分に入る危険性を学んだ。

この後、山本部長が交通安全を呼びかけるとともに、緑ナンバートラックを説明。参加した児童に、反射素材のタックルバンドをプレゼントした。



東ト協 港支部

東ト協 総務委員会

東ト協総務委員会(原島藤壽委員長)は12月19日、港区の第一ホテル東京で令和6年度第3回委員会を開催し、総務小委員会を開設して検討している「会長候補者の選出に関する規程」の改正素案について審議し、さらなる検討や修正案を重ねた上、改正案を取りまとめる。

開催に当たり原島委員長は、「支部長会の開催に先立ち、総務小委員会で喫緊の課題である会長候補者選出に関する規程の素案がまとまったことから、急遽ご審議いただきたい」と述べた。

議事では、「会長候補者の選出に関する規程」の改正素案を審議。見直しのポイントは、①会長候補者の選出方法(会長候補者選出・管理委員会の設置の是非)、②会長候補者選出・管理委員会の委員の選任方法、③会長候補者選出・管理委員会の委員長の選任方法、④会長の任期制導入の是非について検討した。

今後、委員から挙がった意見を基に、今年度中に総務小委員会および総務委員会での再検討や修正案を重ねた上で、改正案を作成し、来年の理事会に「会長候補者の選出に関する規程」の改正案を諮ることとした。

人材確保支援へ 物流の正常化を求める

東ト協は12月11日、日本経済新聞(東京・首都圏経済面)に「働き方改革推進」をテーマとした3回連載シリーズ広告第3弾「物流の正常化を求める」を掲載した。

3回目は、「あの筆跡が、物語るもの。」と題し、不在連絡票に記されたドライバーの名前が、物流の効率化に悪影響を与える再配達をピックアップして、物流の正常化を訴えるもの。

今回のシリーズ広告は、「働き方改革」における会員事業者の労働時間短縮への取り組みや、人手不足解消に向けた人材確保を支援する目的で掲載。荷主に向けて、適正運賃の収受や労働環境の改善への理解を促す内容となっている。

東ト協 日経シリーズ広告第3弾

東ト協は12月4〜6日の3日間、江東区の東京ビッグサイトで開催された「SDGs Week EXPO 2024」のエコプロにブースを出展し、グリーン・エコプロジェクト(GEP)の活動や緑ナンバートラックに、グリーン・エコプロジェクト(大人・子ども)とアンケートを実施し、GEPや貨物輸送評価制度、緑ナンバートラックに関する説明と運送サービスについて一般の声を収集。回答者には、ノベルティをプレゼントした。

エコプロで ブース出展

東ト協は12月4〜6日の3日間、江東区の東京ビッグサイトで開催された「SDGs Week EXPO 2024」のエコプロにブースを出展し、グリーン・エコプロジェクト(GEP)の活動や緑ナンバートラックに、グリーン・エコプロジェクト(大人・子ども)とアンケートを実施し、GEPや貨物輸送評価制度、緑ナンバートラックに関する説明と運送サービスについて一般の声を収集。回答者には、ノベルティをプレゼントした。

サステナブル経営の取り組みを

東ト協は12月4日、東ト総合会館で、令和6年度「経営者セミナー」を開催し、サステナブル経営の推進について、金築氏は、「サステナブル経営は、地球環境保護・社会的責任・経済成長の3つの観点から、持続可能な経営を目指す取り組みと指摘。不確実性が増すなかでも存続する企業とは、現状の効率を追求しつつ、新しい価値を創造するために両立を目指す経営アプローチ」と述べた。

また、「マネジメントの機能(管理者の役割)」「企業存続のカギ」「持続可能性における変化・変革の管理」について解説。このなかで重要なポイントは、「変化・変革における管理」とし、経営内容の変化(従来の業務とはまったく違う業務への変革など)には、必ず混乱期があると指摘。しかし混乱期においても、長期的に企業を望ましい将来像を見据えて、どのような取り組みをすべきかを考えることと、懸念がある場合は対話することが重要と説明した。

同氏は、「日本の常識を打破して、グローバルな経営を目指す」と述べた。

東ト協 経営者セミナー

東ト協は12月4日、東ト総合会館で、令和6年度「経営者セミナー」を開催し、サステナブル経営の推進について、金築氏は、「サステナブル経営は、地球環境保護・社会的責任・経済成長の3つの観点から、持続可能な経営を目指す取り組みと指摘。不確実性が増すなかでも存続する企業とは、現状の効率を追求しつつ、新しい価値を創造するために両立を目指す経営アプローチ」と述べた。

また、「マネジメントの機能(管理者の役割)」「企業存続のカギ」「持続可能性における変化・変革の管理」について解説。このなかで重要なポイントは、「変化・変革における管理」とし、経営内容の変化(従来の業務とはまったく違う業務への変革など)には、必ず混乱期があると指摘。しかし混乱期においても、長期的に企業を望ましい将来像を見据えて、どのような取り組みをすべきかを考えることと、懸念がある場合は対話することが重要と説明した。

同氏は、「日本の常識を打破して、グローバルな経営を目指す」と述べた。

東ト協 6年度 運管試験事前講習会

東ト協は令和7年2月1日と8日の各午前8時50分から午後4時45分まで、東ト総合会館7階大会議室で6年度第2回「運管試験事前講習会」を実施する。

受講対象は会員事業者の都内営業所に所属し、今年度第2回運管試験(貨物試験)7年2月15日〜3月16日実施の受験予定者。

申し込み期間は12月25日午前10時から来年1月27日午後5時(2月1日開催分)まで、および2月3日午後5時(2月8日開催分)まで(先着順、定員に達し次第、受付終了)。

東ト協ホームページ(HP)の「申込フォーム」から申し込む。

定員は各講座とも70名。

②模擬試験&直前対策

1 / 27 / 3まで

東ト協 6年度 運管試験事前講習会

東ト協は令和7年2月1日と8日の各午前8時50分から午後4時45分まで、東ト総合会館7階大会議室で6年度第2回「運管試験事前講習会」を実施する。

受講対象は会員事業者の都内営業所に所属し、今年度第2回運管試験(貨物試験)7年2月15日〜3月16日実施の受験予定者。

申し込み期間は12月25日午前10時から来年1月27日午後5時(2月1日開催分)まで、および2月3日午後5時(2月8日開催分)まで(先着順、定員に達し次第、受付終了)。

東ト協ホームページ(HP)の「申込フォーム」から申し込む。

定員は各講座とも70名。

②模擬試験&直前対策

1 / 27 / 3まで

東ト協 6年度 運管試験事前講習会

東ト協は令和7年2月1日と8日の各午前8時50分から午後4時45分まで、東ト総合会館7階大会議室で6年度第2回「運管試験事前講習会」を実施する。

受講対象は会員事業者の都内営業所に所属し、今年度第2回運管試験(貨物試験)7年2月15日〜3月16日実施の受験予定者。

申し込み期間は12月25日午前10時から来年1月27日午後5時(2月1日開催分)まで、および2月3日午後5時(2月8日開催分)まで(先着順、定員に達し次第、受付終了)。

東ト協ホームページ(HP)の「申込フォーム」から申し込む。

定員は各講座とも70名。

②模擬試験&直前対策

1 / 27 / 3まで

東ト協 6年度 運管試験事前講習会

東ト協は令和7年2月1日と8日の各午前8時50分から午後4時45分まで、東ト総合会館7階大会議室で6年度第2回「運管試験事前講習会」を実施する。

受講対象は会員事業者の都内営業所に所属し、今年度第2回運管試験(貨物試験)7年2月15日〜3月16日実施の受験予定者。

申し込み期間は12月25日午前10時から来年1月27日午後5時(2月1日開催分)まで、および2月3日午後5時(2月8日開催分)まで(先着順、定員に達し次第、受付終了)。

東ト協ホームページ(HP)の「申込フォーム」から申し込む。

定員は各講座とも70名。

②模擬試験&直前対策

1 / 27 / 3まで

東ト協 6年度 運管試験事前講習会

東ト協は令和7年2月1日と8日の各午前8時50分から午後4時45分まで、東ト総合会館7階大会議室で6年度第2回「運管試験事前講習会」を実施する。

受講対象は会員事業者の都内営業所に所属し、今年度第2回運管試験(貨物試験)7年2月15日〜3月16日実施の受験予定者。

申し込み期間は12月25日午前10時から来年1月27日午後5時(2月1日開催分)まで、および2月3日午後5時(2月8日開催分)まで(先着順、定員に達し次第、受付終了)。

東ト協ホームページ(HP)の「申込フォーム」から申し込む。

定員は各講座とも70名。

②模擬試験&直前対策

1 / 27 / 3まで

東ト協 6年度 運管試験事前講習会

東ト協は令和7年2月1日と8日の各午前8時50分から午後4時45分まで、東ト総合会館7階大会議室で6年度第2回「運管試験事前講習会」を実施する。

受講対象は会員事業者の都内営業所に所属し、今年度第2回運管試験(貨物試験)7年2月15日〜3月16日実施の受験予定者。

申し込み期間は12月25日午前10時から来年1月27日午後5時(2月1日開催分)まで、および2月3日午後5時(2月8日開催分)まで(先着順、定員に達し次第、受付終了)。

東ト協ホームページ(HP)の「申込フォーム」から申し込む。

定員は各講座とも70名。

②模擬試験&直前対策

1 / 27 / 3まで

GEP活動をPR

東ト協は12月4〜6日の3日間、江東区の東京ビッグサイトで開催された「SDGs Week EXPO 2024」のエコプロにブースを出展し、グリーン・エコプロジェクト(GEP)の活動や緑ナンバートラックに、グリーン・エコプロジェクト(大人・子ども)とアンケートを実施し、GEPや貨物輸送評価制度、緑ナンバートラックに関する説明と運送サービスについて一般の声を収集。回答者には、ノベルティをプレゼントした。

追突・交差点事故防止へ

飲酒運転撲滅の徹底を

プラン2025 目標達成フルセミナー

モビリティコンサルティン グ部の福田雅之氏が、「事

東京都トラック協会は、12月13日、東ト総合会館で、全日本トラック協会との共催により、「プラン2025目標達成フルセミナー」削減目標達成への取り組み」を開催した。

開催に当たり、全ト協の荻原正吾調査役が交通事故の現状を説明。2023(令和5)年に飲酒運転の事故が大幅に増加したことから、改めて飲酒運転の撲滅を呼びかけた。

前半では、SOMPオリスクマネジメント



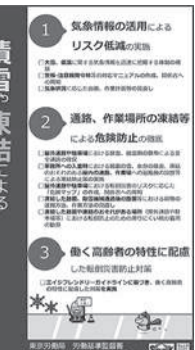
安全プラン2025」では、事故削減目標として「死者数と重傷者数の合計970人以下」「飲酒運転の撲滅」を掲げ、重点削減目標(各都道府県の共有目標)として「車両台数1万台当たりの死者数と重傷者数の合計を6・5人以下」とすることを目指していると説明した。

事故を起こさない強い意志を

全ト協 ラック協会は、12月13日、東ト総合会館で、「生命のメッセージ展」を開催。10命のメッセージを

積雪・凍結による 転倒災防止を呼びかけ

雪・凍結を原因とする転倒災害、交通労働災害とともに、除雪作業中の墜落・転落災害などの労働



転倒災害の防止に当たり、①気象情報の活用によるリスク低減の実施、②通路や作業場所の凍結などによる危険防止の徹底、③働く高齢者の特性に配慮した転倒災害防止対策の実施を求めている。



同メッセージ展は、NPO法人いのちのミュージアムが2001(平成13)年から実施しているもので、飲酒運転による交通事故など理不尽に生命を奪われた犠牲者が主役のアート展。犠牲者一人ひとりの等身大の人型パネルは「メッセージジャー」と呼ばれ、その胸元に本人の写真や家族の言葉が貼られている。

また、足下には「生き証」となる遺品の靴が置かれており、いのちの大切さを訴えている。全ト協では、取り組みを支援しており、トラック運送業界が交通事故のない安全・安心な実現を目指すとともに、訪れた人に安全運転の大切さを今一度自覚するよう求めている。

トラック事故速報 死亡事故

○高速道路等の単調な道路での走行は漫然運転に陥りやすいことを意識し、常に一定の緊張感を保って運転を行うこと。また、十分な車間距離の確保に努め、ゆとりをもって運転すること。

日時	12月5日(木) 10時51分頃発生(晴天)
場所	八王子市(国道20号)
当事者	①事業用大型貨物車(男性60代) × ②原動機付自転車(男性80代死亡)
状況	八王子市大和田町 至 府中 至 高尾
概要	事業用大型貨物車が、国道20号を府中方向から高尾方向に二車線道路の第二通行帯を進行中、前方を走行中の原動機付自転車に気付かず追突した。

問い合わせ先：東京都トラック協会 業務部交通・環境G ☎03-3359-3618
※事故速報は東ト協ホームページでPDFデータも掲載しています

違反別 営業用トラック関与の交通事故

令和6年11月末 年間累計

違反別	安全不確認	前方不注意	交差点安全通行	歩行者妨害	一時不停止	ハンドルブレーキ	信号無視	徐行違反	右左折	その他	計
大型	93	47	25	5	0	18	4	0	0	37	229
関与事故件数	90	39	27	5	0	18	4	0	0	94	277
(前年比)	-1	-12	-7	-2	±0	+3	-2	±0	±0	-19	-40
中型	51	33	17	5	0	16	6	0	1	42	171
関与事故件数	55	32	22	5	0	11	6	1	1	84	217
(前年比)	-13	-8	-2	-5	±0	-7	±0	+1	+1	-10	-43
発生件数	128	83	49	8	6	18	9	0	1	63	365
関与事故件数	130	70	66	8	5	17	12	0	1	172	481
(前年比)	-5	-20	+8	±0	+2	-7	±0	-1	±0	-31	-54
普通・軽	409	190	167	37	23	47	23	3	0	149	1,048
関与事故件数	431	175	211	37	23	42	20	8	0	454	1,401
(前年比)	-13	-21	-4	+9	+2	-9	+2	+3	-1	+33	+1
合計	681	353	258	55	29	99	42	3	2	291	1,813
関与事故件数	706	316	326	55	28	88	42	9	2	804	2,376
(前年比)	-32	-61	-5	+2	+4	-20	±0	+3	±0	-27	-136
死者数	4	1	1	3	0	0	0	0	0	2	11
大型貨物車(1当)	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	3
中型貨物車(1当)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
普通・軽貨物車(1当)	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2

注：営業用貨物車の関与事故件数とは、第1または第2当事者のどちらか一方が営業用貨物車であった事故の件数をいう。ただし、第1および第2当事者がともに営業用貨物車であった事故は1件とする。
※表中の(前年比)は、関与事故件数のもの。

たくさんの笑顔が走る 首都東京

令和6年11月末 現在の都内全域の交通事故発生件数(本年累計)は、2万7,347件で、前年同期比1,122件減少し、死者数は130人で前年同期比13件増加となった。営業用貨物車の関与事故(「違反別」表の下端「注」参照)発生件数(本年累計)は2,376件で、前年同期比

トラックドライバーのための危険予知トレーニング

収録交通場面

- ①有信号交差点での右折
- ②有信号交差点での左折
- ③住宅地の道路
- ④夜間の道路
- ⑤駐車車両がある道路
- ⑥施設へのバック入庫

関東交通共済協同組合

関交協 オリジナル 冊子

トラックドライバーのための危険予知トレーニング

関交協では、運送事業者の皆様とともに交通事故削減を課題とし、様々な事故防止支援を行っております。

当組合発生の事故事例の類似交通場面を画像で例示し、分析&解説した冊子を作成いたしました。

国土交通省 事業用自動車総合安全プラン2025の施策でも挙げられた、取り組むべき課題「危険予知トレーニング用視聴覚教材による事故防止活動の推進」に則した指導・教育に本冊子をご活用ください。

ご希望の方は、関交協・安全推進部まで
TEL: 03-5337-1754
MAIL: ansui@kankokyo.or.jp

関東交通共済協同組合

坊巷話

飛鳥井恭司

今年の動きはこの言葉で

繁華街の夜を彩るイルミネーションの輝きが、2024年から2025年へのいざないのようだ。2025年は「昭和100年」となり、様々な「昭和論」があふれるかもしれないと思いつながら、2024年の世相はどうだったか、世間の関心はどこにあったのかを考えてみた。やはり動きの速い世相や、今の動きを表わす「2024ユーキャン新語・流行語大賞」(現代用語の基礎知識「編」と、今年の実感を一言で表す「今年の漢字」(日本漢字能力検定協会)を手掛かりにしてみた。

「今年の漢字」(表)のなかから、一番世相を象徴する出来事や事件などに関する10の言葉が選ばれ、大賞が決まる。さて、ノミネートされた30の言葉がノミネートされた葉が分り、うまく使え、世相に明るいと自信が持てる人は、どれくらいいるのだろうか。自分を振り返ってみて半分も分かっていないので、世相についていけないので、世相

「今年の漢字」(表)のなかから、一番世相を象徴する出来事や事件などに関する10の言葉が選ばれ、大賞が決まる。さて、ノミネートされた30の言葉が分り、うまく使え、世相に明るいと自信が持てる人は、どれくらいいるのだろうか。自分を振り返ってみて半分も分かっていないので、世相についていけないので、世相

どう過ごしたかの判定は

- 新語・流行語大賞のノミネート
- アサイーボウル
- アザラシ幼稚園
- インバウン井
- 裏金問題
- 界限
- カスハラ
- コンビニ富士山
- 侍タイムスリッパ
- 初老ジャパン
- 新紙幣
- 新NISA
- ソフト老害
- トクリュウ
- 南海トラフ地震臨時情報
- 猫ミーム
- はいよるこんで
- 8番出口
- はて?
- BeReal
- 被団協
- 50-50
- ◎ふてほど
- Bling-Bang-Bang-Born
- ブレイキン
- ホワイト案件
- マイナ保険証一本化
- 名言が残せなかった
- もうええでしょう
- やばい、かつこよすぎる俺
- 令和の米騒動

※◎は年間大賞、○はトップテン



30回目の迎える「今年の漢字」は「金」となり、12月12日に京都府清水寺の貫主が揮毫して発表された。日本漢字能力検定協会が1995年から1年の世相を表す漢字一字を全国から募集し、応募数が一番多かった漢字を発表する。オリビック・パラピックの開催年は「金」になるといわれたが、今年もその例にもれず、通算5度目となる「金」が選ばれた。揮毫した清水寺の森清範貫主は、これまでも「金」の文字が書かれていたので色々と書体を調べたと苦労したようで、中継していたテレビ番組の出演者たちも、すぐには「金」という文字が分からないようであった。

今年の漢字の応募総数は22万1971票で、「金」は1万2148票。2位は能登半島地震、さらに能登地方を襲った豪雨災害など、大規模な災害や事故の発生を受けての「災」、大谷翔平選手の「50-50」など米メジャーリーグでの活躍から「翔」が

光があれば影があるのは……



3位に入り、4位は「震」、5位は「新」となった。1位の「金」については、プラス面の輝くゴールドと、「お金」にまつわる政治がらみの裏金問題や闇バイトなど、マイナス面の両面が投影されている。新語・流行語と今年の漢字を見てみると、「初老ジャパン」や10代の若い選手たちなど、幅広い世代がバリ五輪での活躍と、新紙幣発行に寄せて景気回復への期待など明るい話題に反して、政治の裏金問題、生活逼迫からの「ホワイト案件」、これまで減反政策を推し進めてきた結果のコメ不足が世間を騒がせた「令和の米騒動」「米」は今年の漢字で10位という、影の部分も映し出した。

これまでの新語・流行語や今年の漢字を眺めてみると、時代がつながっているのを感じざるを得ない。皆さんは今年の新語・流行語と漢字は何を選ぼうだろうか?

ポケット

今回は、福島第一原子力発電所の周辺を自転車で巡りました。2011年にあれだけの事故が起こり、その後どうなっているのか、自分の目で見てみたいと思っていました。折りたたみ自転車を常磐線の特急に積み、原発の約12キロ南にある富岡駅に着きました。東京から特急で3時間、福島第一は意外に近い。まずは駅から近い、東京電力廃炉資料館に行きました。見学後は国道6号を北上し、夜ノ森地区に向かいます。事故後、長い間人が住めなくなり、家の瓦が壊れたり、店の看板が落ちたりもしましたが、い

福島第一原発周辺を自転車で

くつか新しい家も建っていました。駅近くの桜並木は福島屈指の桜の名所で、春には10万人が訪れたそうです。今度は春に訪れてみようと思います。原発から3キロほどの大熊町に差しかかると、右側にはロープが張られ「帰宅困難区域につき、通行制限中です」という看板があちこちに立っていました。ゲートには警備員が立ち、出入りをチェックしています。周辺の空間放射線量の掲示板を見ると、毎時1・12マイクロシーベルト。人が暮らすには、まだ厳しいレベルです。

あの日から何が変わった

かで、あんな事故が起こったことが信じられません。その帰り道には、東日本大震災・原子力災害伝承館があります。「原子力郷土の発展豊かな未来」という、双葉町にあった看板のレプリカが置かれています。私たちの「ものを見る目」が以前とは完全に変わってしまったと感じました。東日本大震災を境に日本がどう変わったのか、これからどうするのか考えさせられる風景が、ここにはまだまだ広がっています。

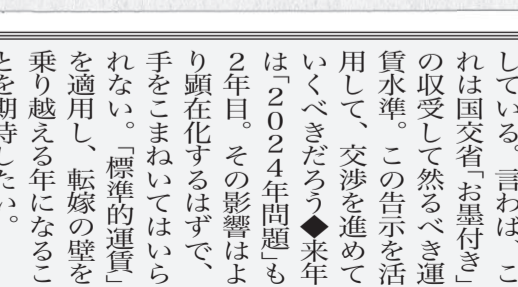
立身出世のご利益



巳が龍(身が立つ)

来年の干支は乙巳(きのとみ)、へび年です。脱皮をするへびは、古い姿を捨て新しい姿に生まれ変わるから、「復活と再生」を連想させ、不老長寿や力強い生命力につながる縁起のいい動物、また古くから「金運アップ・病気平癒など」の神様の遣いとしても信仰されてきました。乙巳は、困難があっても紆余曲折しながら進み、努力を重ね物事を安定させていく、そんな意味をもつ年のようなのです。

東急大井町線の戸越公園駅より徒歩12分ほどのところにある蛇窪神社は、かつて一帯が蛇窪と呼ばれていた地に、鎌倉末期に創建されたといわれる神社。白蛇大神と蛇窪龍神が一緒に祀られている、全



蛇窪神社 品川区二葉4-4-12

三丁目

「年収の壁」が関心を集めたが、今、中小企業の前に大きく立ちちはたかる壁と言え、コスト増分の転嫁問題だ。人件費や物価上昇が続く中、様々な転嫁対策が講じられてきたが、9月の「価格交渉促進月間」フォローアップ調査によれば、コスト全般の転嫁率は約5割。半年前より小幅ながら上昇したが、まだ道半ばの状況にある。なかでも、トラック運送業の転嫁状況は依然、芳しくない。徐々に上昇しているが、取引先への転嫁率は約34%で、集計30業種中の29位と低い。コスト増を理由に運賃の値上げを申し入れても、なかなか応じてもらえないところが多いようだ。ただ、手だてがないわけではなく、国土交通省が最近の「標準的運賃」を告示している。言わば、これは国交省「お墨付き」の取受して然るべき運賃水準。この告示を活用して、交渉を進めていくべきだろう。来年は「2024年問題」も2年目。その影響はより顕在化するはずで、手をこまねいてはいられない。「標準的運賃」を適用し、転嫁の壁を乗り越える年になることを期待したい。